

## 政策レビュー（プログラム評価）等の評価書の作成及び 「平成15年度事後評価実施計画」の策定等について（概要）

### 1. 政策レビューについて

政策レビュー(プログラム評価)は、特定の政策テーマに関連する施策群(プログラム)を対象として、プログラムの実施と結果の因果関係を詳しく分析し、所期の効果をあげているかについて検証し、課題と改善方法を発見するもの。

「国土交通省政策評価基本計画」に基づき、以下のようなテーマを対象として計画的に実施している。

法律施行後一定年を経過するなど、施策の実施を踏まえた評価を行う必要があるもの

施策の前提となる社会経済情勢の変化等により、その見直しの必要が生じたもの

国民的関心が高いこと等により評価を行う必要性が高いもの 等

今回、国土交通省としてはじめて、次の11件（平成13～14年度実施）について評価書を作成した。

- ダム事業 - 地域に与える様々な効果と影響の検証 -
- 都市圏の交通渋滞対策 - 都市再生のための道路整備 -
- 都心居住の推進 - 良好な居住環境の形成 -
- 空港整備 - 国内航空ネットワークの充実 -
- 国際ハブ港湾のあり方 - グローバル化時代へ向けて -
- 総合保養地域の整備 - リゾート法の今日的考察 -
- 低公害車の開発・普及 - 自動車税のグリーン化等による取り組み -
- 道路交通の安全施策 - 幹線道路の事故多発地点対策及び自動車の安全対策等 -
- 貨物自動車運送のあり方 - いわゆる物流二法施行後の事業のあり方の検証 -
- 内航海運のあり方 - 内航海運暫定措置事業の今後の進め方 -
- 河川環境改善のための水利調整 - 取水による水無川の改善 -

国土交通省においては、この政策レビューの実施を通じて、自らが責任をもって評価することにより、プログラムについて国民への説明責任（アカウンタビリティ）を果たすとともに、評価結果を今後の政策に適切に反映させていくこととしている。

## 2．個別公共事業の評価について

維持・管理、災害復旧に係る事業等を除くすべての国土交通省所管公共事業について、新規事業採択時評価及び再評価を実施。

原則として事業費を予算化しようとする事業について、新規事業採択時評価を実施。また、事業採択後5年間が経過した時点で未着工の事業及び事業採択後10年間が経過した時点で継続中の事業等について、再評価を実施。

今回、平成15年度予算に向けた評価として、個別箇所で予算内示をされた事業を含め、新規事業採択時評価879件及び再評価1,094件を実施。また、平成14年度予算に関して、年度途中において事業費が予算化されたものについて、新規事業採択時評価8件を実施。

## 3．個別研究開発課題の評価について

国土交通省の研究機関等において実施する研究開発課題を対象として実施。

必要性、効率性、有効性等の観点から、事前評価、事後評価を実施。（研究期間が5年以上のもの等は、中間評価も実施。）

今回、平成14年度中に行った事前評価24件、中間評価2件、事後評価13件の評価結果を評価書として取りまとめた。

## 4．今後の政策評価の実施予定について

「国土交通省政策評価基本計画」及び「平成15年度事後評価実施計画」に基づき、今後も計画的に政策評価を実施。

今回、政策レビューの新規テーマとして、「水資源政策」を追加（平成16年度～平成17年度実施予定）

基本計画及び実施計画の概要は、それぞれ別途資料を参照。

以上